

インドネシアの電力事情

1. インドネシアの電力事業形態

インドネシアでは、エネルギー・鉱物資源省が管轄するインドネシア国有電力会社（以下 PT PLN）が、発電・送変電・配電を垂直統合し、電力供給を担当している。

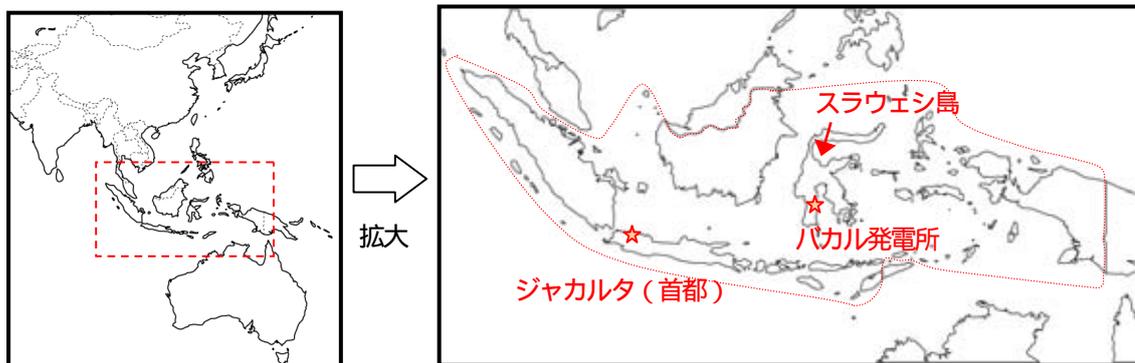
ただし、発電部門については、PT PLN が所有する発電所の一部を別会社化したほか、1990 年代初頭より、民間投資による独立発電事業者（IPP）も参入している。なお、送電・配電部門については、一部の地域を除き、PT PLN が独占的に電力供給を行っている。

2. インドネシアの電力供給設備

項目	インドネシア	東京電力
発電設備	2,920 万 kW	6,398 万 kW
水力	359 万 kW(12%)	899 万 kW(14%)
火力	2,470 万 kW(85%)	3,768 万 kW(59%)
原子力	-	1,731 万 kW(27%)
その他	91 万 kW(3%)	0.4 万 kW(0%)

（インドネシア：2007 年 12 月、日本：2007 年度末、当社：2008 年度末）

3. インドネシアの位置



以 上